

県北支部 第28回定時総会 議案

第1号議案 2021年度（第27期）の活動を振り返って

■例会づくり活動を振り返って

5回の例会を開催することができました。

6月例会(ハイブリッド)では入会間もない吉岡会員の報告でしたが、プレ報告から伊東座長が熱心に取り組んでくれ、共に学んだ直野会員、報告者の吉岡会員共に有意義な例会づくりができたのではないかと思います。

8月例会での小川会員の報告(ハイブリッド)も、金井座長のもと数回のプレ報告を開催してつくりこみを丁寧に行い内容の深い報告となりました。

青年部会との合同例会として開催した10月例会は、ハイブリッドでの開催でしたが会場に来てくださる方々も多く、動員も目標を上回り有意義な例会になりました。請閑座長の例会を成功させたいという熱意に支部会員も感化され、目標人数を上回る動員につながったのではないのでしょうか。また、その中からの入会や会員候補者も現れ支部が活気づきました。

昨年度に続いて開催した佐伯支部との合同例会（1月）は、9月から合同幹事会を行い、2月の振り返りまでの計6開催し、とても新鮮な幹事会となりました。当日は残念ながらコロナ感染の拡大でZoom例会となり、目標人数にも届きませんでしたが、内容も良く県をまたいだ同友会の交流は新しい人間関係・支部関係をつくり出そうとしています。

3月例会はリアルにこだわりました。リアルだからこそできる新会員の認証式も行われ、ゲストさんからも入会の声がかれました。感染対策も万全に行つての懇親会も、4人グループごとに活気ある意見が聞かれ一人ひとりが主役の同友会らしい例会が開催されました。

■企業づくり活動を振り返って

①経営指針の計画づくりや経営理念の必要性は、金丸理事が中心となって活動した「柳会（7回開催）」に8名の会員が参加。同友会がすすめる指針づくりの必要性を学ぶことができました。「経営指針をつくる」会への本格的参加のきっかけづくりには十分すぎるくらい貢献したと思います。（「柳会」の振り返りは後述）

②県北地域での求人活動に関しては岡田代表幹事と共同求人委員会との話し合いから、まずは求人活動を行うために会員企業が同友会型経営の会社に成長することが大切であ

ることに気づき、12月の「わけもんを採用したい会」で事例発表を含め会員間での交流になりました。当初、学校への訪問など計画していましたが、まだ時期尚早と次年度へ繰り越します。

■地域づくり活動《地域を知り、地域のインフラになる》を振り返って

前年度から実施している「SDGs学習会」を継続して実施。持続可能な社会の実現に向けて、SDGsを実施している会社の事例発表を合わせて行いました。そこでの大きな気づきは、もうすでに自身の会社でSDGsをしている、取り組もうとしている会社が多くあったことでした。実際の事例を聞いたことで、自身の会社で取り組んでいる、取り組もうとしていることが、持続可能な社会の実現にむけてその一躍を担っているという新たな気づきを得ることができました。

一方、中小企業振興基本条例に関する学習会は実施できませんでした。来期は条例を学び深めていく学習会を実施し、その活動を通して地域課題を掘り起こしその地域に存在する中小・零細企業と連携を深めて必要とされる企業づくりに取り組んでいきましょう。

■仲間づくり活動を振り返って

佐伯支部との合同幹事会を通して新たな同友会活動を広めてきました。合同例会はコロナの影響でオンライン開催とはなりましたが、コロナ禍の中で会社が取り組んだ事例の報告を受け、アンケートでも大変有意義な報告だったという意見が多くを占め、まさにコロナ過でも負けない企業づくりとして同友会活動を会員外の方にも広く知ってもらえる良い例会となりました。

県北支部ではDoyuFridayの当日は、平日の昼間はなかなか活動が難しいということで、毎月の幹事会等で入会候補者リストと作成してお誘いしたい方や、その後のフォローなどを継続的に実施する方向で会員増強をしてきました。そのかきもあり前々年度よりも増強の認識が広がり、その一躍を担ってきたと思われます。その結果、期末会員60名の目標を達成することができました。引き続き来年度もこの調子で継続的なお誘い等を実施し、会員増強につなげていきましょう。

しかしながら、フォーラムの参加者及びグループ長の確定が遅くなり、期限内に目標に達することができなかったのは大変反省すべき点です。この失敗は来年度に生かしていこうと考えています。

中小企業にとって同友会は活動すればするほど糧となります。その点においても引き続き仲間を増やしていく活動を継続していく必要があります。

2021年度（第27期）活動の記録

1. 支部会員数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月初会員数	54	53	53	53	53	53
入会数	0	1	0	0	0	0
退会数	1	1	0	0	0	1

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	52	52	53	54	55	57	
	0	1	1	1	2	3	9
	0	0	0	0	0	0	3

* 期末会員数60名

2. 例会等の開催

第27回定時総会

4月22日(木) Zoom会議で 15名・27.8%

新会員オリエンテーション

6月2日(木) Zoom会議で 15名

「同友会の歴史と理念」

県北支部代表幹事 岡田明利氏
(株)岡田花店・代表取締役

実践報告「同友会の良さ」

(株)金丸慶蔵商店 代表取締役 金丸亨氏

内訳：会員15名(28.8%)うち入会2年未満会員6名

6月例会

6月24日(木) 日向市あいとぴあを本部にZoom会議で22名
「お客様に寄り添う経営～父の思いを引き継ぎ、時代に合わせた手法で会社を成長させていく～」

吉岡商事(株) 代表取締役 吉岡大介氏

内訳：会員19名(35.8%) + ゲスト3名

SDGs学習会

7月16日(金) Zoom会議で 13名

問題提起「持続可能な社会の実現に向けて～SDGsと中小企業」 宮崎同友会 事務局長 結城美佳氏
実践報告「SDGs グローバル・クリーンの取り組み」

(株)グローバル・クリーン 代表取締役 税田和久氏

内訳：会員10名(18.9%) + 他支部1名 + 他県同友会

1名 + 講師

8月例会

8月20日(金) 延岡市中小企業振興センターを本部にZoom会議で 20名

「人間らしく生きる！～ゴールが見えているから努力は惜しまない～」

あいプラン(株) 代表取締役 小川玲人氏

内訳：会員15名(27.8%) + 他支部4名 + ゲスト1名

10月例会（青年部会との合同例会）

10月13日(木) 延岡市中小企業振興センター + Zoom会議で88名

今年度は県北支部独自の経営指針をつくる会(通称:「柳会」)や財務講座、求人活動学習会を実施したことで、同友会の新たな魅力を会内外にも発信できたことは大変有意義だったと思われます。引き続きこの活動は継続し、あらたな同友会の魅力づくり及び会員増強につなげていきたいと思えます。

■さらけ出し学びあえる支部づくりに向けた活動を振り返って

活動の一環として代表幹事のコロナレポート報告・意見交換を幹事会で実施しましたが、今年度はその1回しか実施できず、広がりを生むことができませんでした。来年度はその方法を再度検討しどのような形で活用していくのがよいかを検討し実施していきます。

【まとめ】

コロナ過の中でもZoomを活用し、例会や幹事会の開催などを実施し、同友会活動を止めることなくできたことはよかったのではないかと思います。また勧誘者リストを作成したことにより増強を意識した例会や訪問等も例年より活発だったのではないかと思います。

そのよかった点をさらに次年度は内容や活動を充実させていき、より良い例会づくりや同友会活動を会員や会員外の方にも広げていける1年にしていきたいと思います。

《2021年度「柳会」の活動を振り返って》

新会員さんの指針経営に興味がある、自分もやってみたという声を受けてスタートした「柳会」でした。

中同協発行の「経営指針成文化と実践の手引き」を教科書にして理念の大事さ、方針、中長期計画、短期計画という形を知ること、経営をしていく上で欠かせない現状を知り、経常利益から逆算していく財務計画を知る、計画する上で経営者に必要な財務指標とは、学んできました。さらに単年度計画書をつくる事を通じてその大切さ役割、組織経営のことなど学ぶ事につながっていききました。

成果としましては下記のような事が挙げられます。

1. オリジナルな表現でA4一枚に見事に表現できているビジョンシートの完成ができました。
2. 方針計画づくりの重要性に気づけました。
3. 組織経営を志していきたいという意志が生まれました。
4. 絶対事業をあきらめない、学びを生かすという覚悟を聞く事ができました。
5. スタッフと夢を語り合う大切さに気づき、理想のお店、なりたい自分を描きたいと思えました。

この会の意義を確認し合い、「経営指針をつくる会」は県北の地で自分達がつくっていくのだという意志を確認する事ができました。来期も継続して実践していきます。

「事業承継を学ぶ～経営者の道を示す、同友会活動～」
(株)つくば食品 代表取締役 八巻大介氏
(茨城同友会・理事)
内訳：会員29名(55.8%) + 他支部30名 + ゲスト17名
+ 他県同友会12名

財務講座①

11月9日(火) 延岡市中小企業振興センターで 10名
『『損益計算書』の構造と経営者としておさえるポイント』
宮崎同友会 事務局長 結城美佳氏
内訳：会員10名(19.6%)

財務講座②

11月16日(火) 延岡市中小企業振興センターで 9名
『『貸借対照表』の構造と経営者としておさえるポイント』
宮崎同友会 事務局長 結城美佳氏
内訳：会員9名(17.0%)

財務講座③

11月22日(月) 延岡市中小企業振興センターで 7名
『『強靱な会社』をつくるための利益計画の作成』
宮崎同友会 事務局長 結城美佳氏
内訳：会員7名(13.7%)

わけもんを採用したい会&望年会

12月17日(金) 日本料理 高浜で 22名
「わけもん採用活動の体験報告」
(有)東栄空調 代表取締役 東郷浩二氏
「多様な採用活動の体験報告」
(株)MFE HIMUKA 代表取締役 島原俊英氏
内訳：会員18名(33.3%) + ゲスト4名

1月例会(大分同友会佐伯支部との合同例会)

1月21日(金) Zoom会議で 32名
「良い会社になるために！～同友会との出会いが私を変えた！～」
(有)ティーアイコーポレーション 代表取締役
幾田淳也氏 (大分同友会佐伯支部・支部長)
内訳：会員12名(22.2%) + 他支部1名 + 大分同友会
会員12名 + ゲスト5名(大分)

3月例会

3月16日(水) 延岡市中小企業振興センターで 28名
「会社と地域のこれからを描く！～後継者だからできることをやり続けて見えてきた 会社の変化・これからの未来」
双葉交通(株) 取締役 豊島明弘氏
(福岡同友会福友支部)
内訳：会員20名(35.1%) + 他支部1名 + 福岡同友会
2名 + ゲスト4名 + インターンシップ生1名

経営指針学習会「柳会」

第1回 5月10日 金丸慶蔵商店で 7名
テーマ：オリエンテーション
第2回 6月8日 金丸慶蔵商店で 7名
テーマ：経営理念作成について
第3回 7月20日 門川町「常若」で 6名
テーマ：単年度利益計画をつくってみよう
第4回 9月2日 金丸慶蔵商店で 6名
テーマ：経営方針について
第5回 10月19日 金丸慶蔵商店で 4名
テーマ：中期計画について
第6回①～③として、財務講座に参加
第7回 3月24日 金丸慶蔵商店で 7名
テーマ：単年度方針の発表と交流

3. 幹事会の記録

第1回 4月22日(木) Zoom会議で
参加：8名(80%) + 理事2名
第2回 5月6日(木) Zoom会議で
参加：8名(80.0%) + 理事2名
第3回 6月1日(火) Zoom会議で
参加：8名(80.0%) + 理事1名 + 6月例会座長1名
第4回 7月6日(火) Zoom会議で
参加：8名(80.0%)
第5回 8月3日(火) Zoom会議で & 延岡市中小企業振興
センターで
参加：7名(70.0%) + 理事1名 + オブザーバー1名
第6回 9月7日(火) Zoom会議で
冒頭20分間は大分同友会佐伯支部と合同幹事会
参加：6名(60.0%) + 理事1名 + 佐伯支部幹事・
事務局
第7回 10月5日(火) Zoom会議で
冒頭20分間は大分同友会佐伯支部と合同幹事会
参加：9名(90.0%) + 理事2名 + 佐伯支部幹事・
事務局
第8回 11月2日(火) Zoom会議で
冒頭20分間は大分同友会佐伯支部と合同幹事会
参加：6名(60.0%) + 理事1名 + 佐伯支部幹事・
事務局
第9回 12月7日(火) Zoom会議で
冒頭20分間は大分同友会佐伯支部と合同幹事会
参加：6名(60.0%) + 理事1名 + 佐伯支部幹事・
事務局
第10回 1月6日(木) Zoom会議で
冒頭20分間は大分同友会佐伯支部と合同幹事会
参加：7名(70.0%) + 理事1名 + 佐伯支部幹事・
事務局
第11回 2月1日(火) Zoom会議で
参加：8名(80.0%) + 理事1名 + 3月例会室長

- 第12回 3月1日(火) Zoom会議で
参加：7名(70.0%) + 新年度幹事予定者1名
- 第13回 4月5日(火) Zoom会議で
参加：8名(80.0%) + 理事1名 + 新年度幹事予定者3名
- 第14回 5月10日(火) Zoom会議で

第2号議案 2022年度(第28期)の活動方針 と活動計画

活動スローガン

学んで実践。今だからこそできる経営者の学びを深めよう

1) 例会づくり

年間5回の例会を開催します。

①例会づくりには支部幹事と会員でチームを組んで取り組んでいきます。例会づくりに携わることで、報告者の経営体験をより深く知ることができ、自分自身に置き換えることで自社の活性化につながります。楽しく、共に学べる例会をつくり、それを自社に持ち帰り効果が出るように例会ごとの振り返りもていねいに行い、次の例会に活かしていきます。

新型コロナウイルスへの感染予防対策をはかりながら、リアル開催やオンラインの活用など柔軟に取り組んでいきます。

②昨年12月の「わけもんを採用したい会」は、ゲストを含めて多くの参加があり、その後入会もありました。採用や求人活動に関しても会員の要望が高いように思います。企業の成長・発展には「人が育つ企業づくり」が欠かせません。「経営指針」「採用と育成」「ダイバーシティ」をテーマとして、県の方針および委員会活動と連携した例会づくりを進めていきます。

「事業承継」も大事なテーマです。青年部会との連携で若い経営者をターゲットとした例会を開催します。青年部会のエネルギーな活動は県北支部会員にもとても刺激を与えてくれます。また、ゲスト会員も多く参加することもありその後の会員増強にも大きく貢献しています。

2021年度から行っている大分同友会佐伯支部(会員数30名)との交流(合同例会)を今年度も開催します。同友会は都道府県ごとに独立しています。大分同友会と宮崎同友会、佐伯支部と県北支部にもちがいがあります。県をまたぎますが隣接した隣通しの支部として例会づくりからそのちがいに学びあい、互いに助け合うこと

ができるのではないかと始めた合同例会は、例会づくりや当日のグループ討論にいたるまで新鮮な緊張感をもたらしています。合同例会を通して両支部が活発に交流することで、学びあいの幅をより広げることが得られると思います。

- ③例会づくりにおいての以上を活動を通じては
- ・会員参加者率平均40%以上目指します。(2021年度は32.7%)
 - ・ゲスト参加者は参加目標人数の15%以上を目指します。

これらの活動を通じて学んだことを、企業づくり、地域づくり、仲間づくりにつなげていきます。

2) 企業づくり

- ①昨年県北支部独自の経営指針づくり勉強会『柳会』を7回開催することができました。その会員が中心となり、3回の財務講座開催へとつながりました。参加した会員がより深く学べるよう、県で行う『経営指針をつくる会』への参加を働きかけていきます。

「柳会」は今年度も開催します。すべての支部会員が経営指針を作成していけるよう初歩の段階からサポートしていきます。「柳会」の活動計画は後述)

また、財務講座は、今年度も初歩的な講座を開催すると共に、もう一步踏み込んだ内容のものをという昨年の受講者の要望にも応えていきます。

- ②地域と共に育つ企業づくりのため、社員の雇用はとても大切です。宮崎同友会は共同求人委員会が求人をするための会社づくりから求人活動までを行っています。支部としてはそれを広げていくためにも雇用の前段階のインターンシップ・職場体験の受け入れに取り組みます。また、小中学校は地域自治体(教育委員会)管轄ですので担当部署と協議を行い、現状認識を深めた中、小中学生の職場体験受け入れを支部として取り組んでいきます。

3) 地域づくり《地域を知り、地域のインフラになろう》

- ①SDGsと中小企業振興基本条例に関する学習会や市長との懇談会等を実施します。

その活動を通して中小企業や地域課題を掘り起こし、その地域に存在する中小・零細企業との連携を深めて必要とされる企業づくりに取り組んでいきます。

- ②景況調査は、現在中小企業や地域が抱えている問題点などを知る、又は解決していくために重要な指標であるため回答協力と呼びかけ、県北支部として50%以上の回答率を目指します。

4) 仲間づくり

- ①「みやざき中小企業経営フォーラム」は、年1回の大きなイベントであり、同友会の活動を知ってもらう上での大きな会合です。支部会員参加者率65%以上目指し、ゲスト参加者も県北支部目標の15%以上の参加を目指します。
- ②Zoomによるオンライン会議への参加者も増えてきました。支部会員のZoom利用率100%を目指して取り組んでいきます。オンラインだからこそ遠方の会員と距離感なく自由に繋がることわかりました。Zoomを使った活動で会員のみならずゲストへ同友会の魅力と同友会活動の重要性を伝え仲間づくりにもつなげていきます。
- ③入会候補者の掘り起こしや入会へのアプローチについては、前年度から実施している「入会候補者リスト」の活用を今期も毎月の幹事会等で行い、お誘いしたい方や、例会や会合などに来られたゲストのフォローを実施し、継続的な会員増強につなげていきます。
- 期末会員数目標65名 組織率2.30%(現在2.13%)
- ④『柳会』において経営に関する勉強会の実施、また同友会の良さをさらに深める活動を実施し、会員が辞めない県北支部を目指します。
- 退会率5%以下 2019年度5.6%
- ⑤新会員オリエンテーションを2回実施し、新会員との交流や同友会の活動を知ってもらい、新しい仲間づくりや会員同士の連携を深めていきます。
- ⑥コロナ禍で会員間の親睦・交流が少なくなってきた中、今期は交流会（「絆の会」）を2回開催します。会員同士肩の力を抜いて話し合うことで、同友会の魅力を再認識して次なる学びにつなげていきます。

5) さらに出し学びあえる支部づくり！

会員の経営や会社の状況、歴史などを記入した「不離一体シート」の作成と発表を行い、発表者自身の会社を別視点でとらえる場、改めて認識する場、また他の経営者がどのような考えを持っているのかなどを学ぶ機会を設け、支部会員全体にもその活用と発表の場を広げていきます

6) 全国行事へ参加し、全国の仲間と学ぼう！

全国行事は、全国規模で他の県の経営者の発表が聞ける機会の一つです。Zoom等で全国どこの会合へも参加がしやすくなってきた昨今、全国に会員がいる同友会の特徴を利用し、刺激と経営者としての覚悟をさらに深めていきましょう。

《県北支部経営指針づくり「柳会」活動計画》

<趣旨>

県北支部会員の中で新会員、経営指針を作成しているが継続作成できていない会員、今一度作成し直したい会員、経営指針、事業計画が未整備の会員を対象に経営指針づくりのスタートとして、経営指針の解説、意見交換、作成補助の場として活動していきます。

<目的、意義>

事業計画、経営指針は経営者であれば、会員であれば尚の事、必ず整備しなければならないと考えています。

県北支部は、指針書を軸とした経営の実践をしていく会員が支部活動を通じて経営課題を乗り越え、よりよい経営ができるようになっていくためにあると考えました。

しかし現状、会員同士において互いの事業計画へ興味を持ち交流する会風は無いと思います。

支部会員が全員、経営指針書を軸とした経営を実践できるようになるまで継続して行っていき、また指針書づくりを継続している企業であっても客観的な視点や合理性、科学性をもった指針書であるか、検証できる場としても機能させていきたいと考えています。

また経営者が中心となり指針作りを自社内に根付かせ社員が計画づくりへ意欲的に参画し社内社外を巻き込む好循環が回るようになっていきたいと考えています。<具体的なこれからの計画案>

「経営指針成文化と実践の手引き（2000円）」を教本として、解説、指針作成を行う。

オリエンテーションも含め年10回開催を予定しています。

内3回は財務講座（講師 事務局長）を予定し、この講座に関しては支部行事としてもらい、支部会員全体に案内を行う。

第1講	5月	オリエンテーション
第2講	6月	経営理念について
第3講	7月	経営方針について
第4講	8月	経営方針中期計画について
第5講	9月	中期計画について
第6～8講	10月11月	財務講座
第9講	12月	単年度計画
第10講	2月	指針発表

※柳会・・・強い会社とは、どんな状況変化があったとしても乗り越えられるしなやかな強さを持った会社ではないかと考え柳会としました。

2022年度の活動計画

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
幹事会 原則 第1火曜日	5日 (火)	10日 (火)	7日 (火)	5日 (火)	2日 (火)	6日 (火)	
支部活動	例会	支部総会 (5月16日) 日向			例会①テーマ：ダイバーシティ	例会②テーマ：採用	
	経営指針 (担当:金丸、経澤)		インボイス制度 学習会				
	地域づくり		「柳会」第1講 オリエンテーション	「柳会」第1講 経営理念	「柳会」第3講 経営方針	「柳会」第4講 経営方針・中期計画	「柳会」第5講 中期計画
	経営指針				財務勉強会 (応用編)		
	共同求人		共同求人委員会や地域の教育委員会との交流・連携を図り、インターンシップ・職場体験の受け入れに取り組む。				
	その他			親睦会 (絆の会)		佐伯支部との納涼会	
会員増強		新会員オリエンテーション					
県の活動	27日 定時総会						
全国行事		13日 九州沖縄ブロック青年部合同例会 (長崎)	16-17日 女性経営者全国交流会 (島根)	7-8日 総会 (沖縄)		15-16日 青全交 (兵庫)	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
幹事会	4日 (火)	1日 (火)	6日 (火)	10日 (火)	7日 (火)	7日 (火)	
支部活動	例会	第31回 フォーラム	大分同友会佐伯支部との合同例会③報告者/宮崎 会場/大分	学びの場+望年会	例会④テーマ：事業承継として青年部と連携	例会⑤テーマ：経営指針	
	地域づくり			学習会			
	経営指針	「柳会」第6講～第8講 財務講座		「柳会」第9講 単年度計画		「柳会」第10講 経営指針発表会	
	共同求人						
	その他		親睦会 (絆の会)				
	会員増強		新会員オリエンテーション				
県の活動	第31回みやざき中小企業経営フォーラム	DoyuFriday		新春経営者交流会			
全国行事	20-21日 人を生かす経営全国交流会 (徳島)					2-3日 全研 (長野)	

これは、同友会会員として守るべき大切なマナーです。同友会はマナーを守る人の集まりだと、自他ともに認めあえる会にするために、会員同士お互いに日頃からよく自覚していきましょう。

1. 会が発行するニュースや案内などの文書は必ず読みましょう。
2. 月に一回は同友会の行事に参加しましょう。
3. e-doyu、電話、フアクシミリ、ハガキ、電子メール等で回答を求められていることには必ず期限内に返事をしましょう。
4. 会合の時間を守りましょう。遅れそうなときは事前に連絡を入れましょう。
5. 参加したら何かをつかんで、自社にもちかえり。社内で報告するなどして経営に生かしましょう。
6. 会議中、例会中は携帯電話を使用しないようにしましょう。

(「同友会運動の発展のために」をもとに、2014年10月6日県北支部幹事会で確認)

同友会 会員の マナー